

# 八郎湖に係る湖沼水質保全計画(第4期)策定

～恵みや潤いのある“わがみずうみ”を目指して～



ごあいさつ

秋田県環境保全課 八郎湖環境対策室  
室長 藤原 慶一郎

この度、当県において湖沼水質保全特別措置法に基づき、2025年度から34年度までを計画期間とする「八郎湖に係る湖沼水質保全計画(第4期)」を策定しました。

これまで県では、各期に策定された湖沼水質保全計画を基に、西部承水路の流動化や、流域水田農地における水質保全型農業の普及支援による汚濁負荷の軽減など、八郎湖の水質保全対策を推進してきたところです。

策定した第4期湖沼水質保全計画では、八郎湖の水質保全と併せ、生態系保全、魅力向上、情報発信などにも取り組み、関係機関や団体などと連携を図りながら、八郎湖の長期ビジョンである「恵みや潤いのある“わがみずうみ”」の実現を目指しますので、今後の水質保全対策に対してご理解とご協力をお願いいたします。



国営八郎潟干拓事業が完成し、現在の八郎湖が誕生したのは1977年。以後、富栄養化が進みアオコが大量に発生するなど、水質環境基準が達成されない状況が継続していることから、県は2008年3月に「八郎湖に係る湖沼水質保全計画」(第1期)を策定。「恵みや潤いのある“わがみずうみ”」の長期ビジョンを掲げ総合的な水質保全対策を継続しており、25年度末には第4期計画を策定した。

第4期計画では、生活排水などの発生源対策やアオコ対策、湖内浄化対策を継続するとともに、特に農地からの排水負荷削減に効果的な水質保全型農業などの拡充を図る。

また、面発生源負荷の割合が約9割と大きい八郎湖では、対策の効果把握に時間を要するため、計画期間を10年に延長し、中長期的に効果

を把握するとともに、生態系の多様性や健全性を含めて対策・評価を行うこととした。

特に建設分野に関連する対策の1つが下水道などの整備と接続率の向上。生活排水の適正処理を図るため、下水道への接続や合併処理浄化槽の設置などを促進する。

また、中央干拓地では、東北農政局が「国営かんがい排水事業八郎潟地区」を実施。干拓事業の際に整備した排水路・用水路の改修を展開していることから、同事業との連携をより緊密にして、農地排水負荷削減対策を推進する。

ほかに、流入河川的环境整備や河川清掃、湖底耕うんなどによる底質の改善など、多様な取り組みを進め、50年度をメドに長期ビジョンの達成を目指す。

MOVE EARTH.  
MOVE EVERYTHING.

日本国土開発株式会社

KOKUDO

東北支店長 福井 孝之

宮城県仙台市青葉区中央3丁目2-1(青葉通プラザ10階)  
TEL.022(262)2101(代)



ユナイテッド計画株式会社

代表取締役社長CEO 平野 久貴

秋田市寺内蛭根三丁目24番地の3  
TEL.018(865)3776 FAX.018(865)3778